

事業所名		nicolabo				支援プログラム		作成日		2025 年		1 月		28 日	
事業所理念		・ 個々の発達に応じたスモールステップ ・ 地域との関りや連携 ・ 子どもの可能性を広げ今という時間を笑顔で楽しむ													
支援方針		・ 子ども達のサードプレイスとしての心地よい居場所 ・ 子どもの成長を実感できる療育 ・ ご家族と子育てを共有しともに学びあえる関係性													
営業時間			9 時		0 分から		18 時		0 分まで	送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・ 心身や健康状態の把握(通所時の検温、サービス提供時間内の目視での健康状態の把握) ・ 構造化を意識した環境設定(絵カードを用いての視覚支援や時計やロッカー等のかたづけ方等も視覚でわかるように絵を貼り表示している) ・ 生活力の向上(身だしなみを清潔に保つ事や食事、着脱、排泄の基本的な生活力を養う為の支援を行う)													
	運動・感覚	・ キッズヨガやマラソン等子ども達の体に負荷がかかりすぎないようなトレーニングを行う。 ・ 感覚過敏のある子どもにはイヤーマフや個室配慮を行い過ごせるようにしている。													
	認知・行動	・ 空間把握に関する認知の形成(ブロックやパズル遊びを通じて認知機能の向上を目指す) ・ 季節感を養い四季を感じ日本の文化を知る(戸外活動を通して四季の変化を感じイベントで花見や節分、敬老の日等文化を知る)													
	言語コミュニケーション	・ 言語に発達の遅れが見られる子どもへの配慮(絵ガードやマカトン、指差し身振り等のコミュニケーションを個々に適切に提供し環境の理解や意思の伝達を支援していく) ・ 発語の獲得、聞く力を養う支援を行う。(絵本や紙芝居の読み聞かせを通し言語の習得を目指し。同時に聞く力や集中力を養う)													
	人間関係社会性	・ 他者との関わりの育成。(家族以外との大人との関わり、異年齢の友達との交流を提供し成長の発達を促す。見立て遊びやレクリエーションを通して支援者や友達との信頼関係を構築する) ・ 協調性や集団行動を養う。(レクリエーションで勝ち負けを経験したりグループ行動を意識できる活動に取り組む)													
家族支援		・ 子どもの発達状況や特性の理解に向けた面談を行う。 ・ 家族や兄妹児に関する困りごとや悩みに関する相談援助。 ・ 子育てや障害についての理解を深める為の保護者向け交流や研修の提供。							移行支援		・ 就学や進路に向けて本人の気持ちや家族の意向を丁寧に聞き取り本人にとって最善の方向性を関係機関含め共有し支援していく。				
地域支援・地域連携		・ 学校や子ども園との情報共有の中役割分担を行うと共にそれぞれの機関で得られた情報を共有し支援に活用する。							職員の質の向上		・ 強度行動障害や児発管研修等、福祉に関わる資格取得の為の研修参加。 ・ 定期的な社内研修や外部研修への参加。				
主な行事等		春(進級進学パーティー、春の遠足、鯉のぼり鑑賞)夏(納涼祭、花火大会、戸外プール、体育館運動)秋(味覚狩り、秋の遠足、ハロウィンパーティー)冬(クリスマスパーティー、忘年会、節分) その他⇒保護者交流会、スポーツセンター、習字、図書館訪問等													